

令和 7 年度

板橋区立板橋第五中学校

8 年学習の手引き

(各教科の指導内容および評価規準)

国語 P 1

社会 P 5

数学 P 7

理科 P 9

音楽 P 11

美術 P 13

保健体育 P 15

技術科 P 18

家庭科 P 22

英語 P 24

【観点別学習状況の評価と評定の評価基準】

観点別 評価	A	「十分に満足できる」状況と判断されるもの(80%以上)
	B	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(50%以上)
	C	「努力を要する」状況と判断されるもの(50%未満)

評定	5	「十分に満足できる状況であるもののうち、特に程度の高い」状況と判断されるもの(90%以上)
	4	「十分満足できる」状況と判断されるもの(80%以上90%未満)
	3	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(50%以上80%未満)
	2	「努力を要する」状況と判断されるもの(20%以上50%未満)
	1	「一層努力を要する」状況と判断されるもの(20%未満)

8年 国語科

教科目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
学年目標	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 豊かに想像する	「名づけられた言葉」 「セミロングホームルーム」 ○言葉発見① 話し言葉と書き言葉 ○グループディスカッション ○漢字を身につけよう① ◆書写：点画の省略	○話し言葉と書き言葉の違いについて理解している。 ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○第1学年までに学習した漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○漢字の行書の基礎的な書き方（点画の省略）を理解して欠いている。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考え方を尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	○進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○進んで登場人物の設定の仕方などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○進んで話し言葉と書き言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○積極的に互いの立場や考え方を尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。 ○漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
2 わかりやすく伝える	「宇宙に行くための素材」 「人間は他の星に住むことができるのか」 ○手紙・メール ○言葉発見② 言葉の働きとコミュニケーション ○漢字を身につけよう② ◆書写：筆順の変化	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 ○第1学年までに学習した漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解している。	○「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて文章を整えている。	○進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。 ○粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。 ○進んで言葉のもつ相手の行動を促すはたらきについて気づき、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○漢字の行書の書き方を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
3	「短歌の世界」	○抽象的な概念を表す語句の量	○「読むこと」において、文章を読	○進んで知識や経験と結びつけ、学

ものの見方・ 感性を養う	短歌十首」 ○短歌・俳句 ○文法の窓 1 用言の活用 「壁に残された 伝言」 ○私の読書体験 ○漢字を身につ けよう③ ◆書写： 行書の練習2	増すとともに、類義語と対義語、 同音異義語や多義語的な意味を表 す語句などについて理解し、話や 文章の中で使うことをとおして、 語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ○単語の活用について理解してい る。 ○第1学年までに学習した漢字を 読んでいる。また、学年別漢字配 当表に示されている漢字を書き、 文や文章の中で使っている。 ○漢字の行書の書き方(点画の省 略・筆順の変化)を理解してお る。	んで理解したことや考えたことを 知識や経験と結びつけ、自分の考 えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、表現の工 夫とその効果などについて、読み 手からの助言などを踏まえ、自分 の文章のよい点や改善点を見いだ している。 ○「読むこと」において、文章を読 んで理解したことや考えたこと を知識や経験と結びつけ、自分 の考えを広げたり深めたりして いる。	習課題にそって考えたことを伝え 合おうとしている。 ○粘り強く文章のよい点や改善点 を見だし、学習の見通しをもって 短歌や俳句を創作しようとしてい る。 ○進んで単語の活用について理解 し、学習したことを生かして課題に 取り組もうとしている。 ○進んで自分の考えを広げたり深 めたりし、学習したことを生かして 本や新聞、インターネットなどから 集めた情報を活用しようとしてい る。 ○漢字の行書の書き方を理解し、学 習の見通しをもって文字を書こう としている。
4 論理的に考 える	「味は味覚だけ では決まらな い」 ○言葉発見③ 敬語の意味と種 類 ○プレゼンテー ション ○漢字を身につ けよう ◆書写：行書と 仮名の調和	○情報と情報との関係のさまざま な表し方を理解し使っている。 ○敬語のはたらきについて理解 し、話や文章の中で使っている。 ○第1学年までに学習した漢字を 読んでいる。また、学年別漢字配 当表に示されている漢字を書き、 文や文章の中で使っている。 ○漢字の行書に調和した仮名の書 き方を理解して書いている。	○「読むこと」において、文章と図 表などを結びつけ、その関係をふ まえて内容を理解している。 ○「話すこと・聞くこと」におい て、資料や機器を用いるなどし て、自分の考えがわかりやすく 伝わるように表現を工夫してい る。	○進んで文章と図表などを結びつ けて内容を解釈し、学習課題にそ って考えたことを文章にまとめよう としている。 ○進んで敬語のはたらきについて 理解し、学習したことを生かして課 題に取り組もうとしている。 ○積極的に資料や機器を用い、学習 の見通しをもって説明や提案をし ようとしている。 ○進んで漢字の行書に調和した仮 名の書き方を理解し、学習の見通 しをもって文字を書こうとして いる。
5 古典に学ぶ	「枕草子・徒然 草」 「平家物語」 「漢詩の世界」 ○漢字のしくみ 1 ○漢字を身につ けよう⑤ ◆書写：行書に 調和する仮名	○作品の特徴を生かして朗読する などして、古典の世界に親しんで いる。 ○現代語訳や語注などを手がかり に作品を読むことをとおして、古 典に表れたものの見方や考え方を 知っている。 ○第1学年までに学習した漢字を 読んでいる。また、学年別漢字配 当表に示されている漢字を書き、 文や文章の中で使っている。 ○漢字の行書の書き方と、漢字に 調和した仮名の書き方を理解し て書いている。	○「読むこと」において、文章を読 んで理解したことや考えたことを 知識や経験と結びつけ、自分の考 えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、目的や意 図にに応じて、日常生活や社会生 活の中から題材を決めている。 ○「読むこと」において、観点を明 確にして文章を比較するなどし、 文章の構成や論理の展開、表 現の効果について考えている。	○進んで理解したことや考えたこ とを知識や経験と結びつけ、学習課 題にそって考えを伝え合おうとし ている。 ○進んで文章の構成や表現の効果 について考え、学習課題にそって考 えたことを伝え合っている。 ○進んで常用漢字を読み、学年別漢 字配当表に示されている漢字を書 き、使い、学習したことを生かして 課題に取り組もうとしている。 ○進んで漢字の行書の書き方と、漢 字に調和した仮名の書き方を理 解し、学習の見通しをもって文字 を書こうとしている。
6 情報に関係 づける	○マンガ 情報 の扱い方 ○—〇〇年後の	○意見と根拠、具体と抽象など情 報と情報との関係について理解し ている。	○「書くこと」において、目的や意 図にに応じて、社会生活の中から題 材を決め、多様な方法で集めた材	○積極的に情報と情報の関係に注 意して内容を解釈し、学習の見通し をもって話し合い、考えをまとめよ

	水を守る ○飲み水は不足しているか ○水問題に関する資料 ○投稿文 ○文法の窓 2 助詞・助動詞のはたらき ○漢字を身につけよう⑥ ◆書写：行書と仮名のまとめ	○助詞や助動詞などのはたらき、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ○第1学年までに学習した漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○漢字の行書の書き方と、漢字に調和した仮名の書き方を理解して書いている。	料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。 ○「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 ○「書くこと」において、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	うとしている。 粘り強く情報の整理の仕方について注意して内容を解釈し、学習課題にそって投稿文を書こうとしている。 ○進んで助詞や助動詞などのはたらきや文の構成について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○進んで漢字の行書の書き方と漢字に調和した仮名の書き方を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
7 読みを深め合う	「大阿蘇」 ○言葉発見④ 類義語・対義語・多義語 「小さな手袋」 ○創作文 ○読書活動 ○漢字を身につけよう⑦ ◆書写：楷書と行書の使い分け	○類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ○第1学年までに学習した漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。	○「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を理解している。 ○「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	○進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○進んで類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○進んで登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。 ○進んで楷書または行書を選び、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
8 視野を広げる	「動物園でできること」 ○論説文：構成を工夫して考えを伝える ○漢字のしくみ 2 ○漢字を身につけよう⑧ ◆書写：季節のしおり2	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○第1学年までに学習した漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	○進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。 ○進んで常用漢字を読み、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
9 振り返って見つめる	「走れメロス」 ○漢字を身につけよう⑨ ○情報誌：地域	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○第1学年までに学習した漢字を	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読	○進んで登場人物の表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○積極的に伝え合う内容を検討し、

	の魅力を振り返って ◆書写：季節のしおり2	読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えようとしている。	粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって情報誌を作ろうとしている。 ○進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
--	-------------------------------------	---	--	--

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・定期考査 ・小テスト (漢字・暗唱テストを含む) ・ワークシート	・定期考査 ・小テスト ・課題に関する提出物（電子を含む） ・発表の内容	・定期考査 ・振り返りシート ・課題解決に向けて取り組む姿勢 ・発表の内容

社会科

教科目標	(地理)
	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
	(歴史)
	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
	(公民)
	現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

8年生

単元	項目	評価の観点基準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近世の日本と世界	- 幕藩体制の確立と鎖国 - 経済の成長と幕政の改革	諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたこと、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	新田開発や農林水産業が盛んになった背景には、生活の向上を願う人々の工夫や努力があったことを資料から読み取り、指摘している。	産業の発達、教育の普及と文化の広がり、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本のさまざまな地域	- 地域調査の方法を学ぼう - 日本の特色と地域区分	目的に応じてさまざまな地域区分ができることを理解し、それぞれの地域の特色について読み取る技能を身に付けている。	日本のさまざまな地域区分図を、共通点や関連性などに着目して多面的・多角的に考察し、それぞれの地域の特色を表現している。	日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の諸地域	- 九州地方 - 中国・四国地方 - 近畿地方	地方の位置と自然環境の特色について、地図・グラフなどから読み取る技能を身に付け、構成する県の位置や名称を理解している。	地図・グラフなどの資料から、工業地帯についての地域的特色や全国に占める割合の変化を読み取る技能を身に付け、工業地帯における工業の特色や課題、その歴史的な変化を理解している。	日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の近代化と国際社会	- 近代世界の確立とアジア - 開国と幕府政治の終わり - 明治維新と立件国家への歩み - 激動する東アジアと日清・日露戦争 - 近代の産業と文化	富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国	明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

	の発展	家が成立して議会政治が始まったことを理解している。		
日本の諸地域	・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	・地方の位置と自然環境の特色について、地図・グラフなどから読み取る技能を身に付け、構成する県の位置や名称を理解している。	・地図・グラフなどの資料から、工業地帯についての地域的特色や全国に占める割合の変化を読み取る技能を身に付け、工業地帯における工業の特色や課題、その歴史的な変化を理解している。	・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
地域のあり方	・地域の成り立ちや課題	・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論し、まとめる手法について理解している。	・地域のあり方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・地域のあり方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート（電子データ含む） ・レポート	・ワークシート（電子データ含む） ・振り返り

8年 数学科

教科目標	① 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。 ② 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性和意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。 ③ 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 ④ 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。
学年目標	① 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ② 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 ③ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、問題解決しようとする態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 文字式を使って説明しよう [式の計算]	1 式の計算 2 文字式の利用	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・文字を使った式のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式]	1 連立方程式とその解き方 2 連立方程式の利用	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・連立2元1次方程式のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]	1 1次関数 2 1次関数の性質と調べ方 3 2元1次方程式と1次関数	・1次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・2元1次方程式が関数を表す式とみることができる。 ・1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・1次関数の関係を表、式、グラフ	・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・1次関数のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

	4 1 次関数の利用	を用いて表現したり、処理したりすることができる。		
4 章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]	1 説明の仕組み 2 平行線と角 3 合同な図形	- 多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。 - 平行線や角の性質を理解している。 - 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 - 証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。	- 証明のよさに気づき、証明の方法を粘り強く考えようとしている。 - 平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
5 章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	1 三角形 2 平行四辺形	- 証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 - 定義やことがらの仮定と結論、逆の意味を理解している。 - 反例の意味を理解している。 - 正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	- 三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 - 証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。 - 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 - ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。	- 証明のよさに気づき、その方法を粘り強く考えようとしている。 - 平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
6 章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	1 確率 2 確率による説明	- 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 - 簡単な場合について確率を求めることができる。	- 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 - 確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	- 場合の数をもとにして得られる確率のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
7 章 データを比較して判断しよう [データの比較]	1 四分位範囲と箱ひげ図	- 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 - コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	- 四分位範囲や箱ひげ図のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 定期考査 - 単元別テスト - 小テスト - 行動の観察	- 定期考査 - 単元別テスト - 小テスト - 行動の観察	- 定期考査 - 振り返り - 小テスト - ワークシート（プリント） - 行動の観察

8年 理科(1)

教科目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
------	--

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 化学変化と原子・分子	第1章 物質のなり立ち 第2章 物質どうしの化学変化 第3章 酸素がかかわる化学変化 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 化学変化とその利用	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。	化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 天気とその変化	第1章 気象の観測 第2章 雲のでき方と前線 第3章 大気の動きと日本の天気	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。	気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

8年 理科(2)

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 生物のからだ	第1章 生物と細胞 第2章 植物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき 第4章 刺激と反応	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。	生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
4 電気の世界	第1章 静電気と電流 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現している。	電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・定期考査 ・小テスト ・レポート	・定期考査 ・小テスト ・レポート ・発表の内容 ・ワークシート	・ノート ・ワークシート ・レポート ・振り返りテスト

8年 音楽科

教科目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
学年目標	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B 評価）		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
『浜辺の歌』	歌唱	- 複合拍子の特徴を理解できる。 - 旋律の流れと歌詞との関わりを理解して歌唱できる。	- 曲想と形式との関わりを理解して、強弱や音域に応じた発声を工夫して歌唱できる。 - 日本語のもつ美しさや抑揚の特徴を生かすように歌唱できる。	曲想を感じ取り、形式を生かして表現を工夫できる。
『小フーガ短調』	鑑賞	- 多声音楽の特徴、フーガの構造を理解する。 - パイプオルガンについて特徴を理解する。	- フーガの構造を理解して、各パートの役割やテクスチャを意識して鑑賞できる。 - 楽器の規模や設置場所、使用目的等を理解して比較して鑑賞できる。	- パイプオルガンの音色や設置場所による違いなど、根拠をもって批評することができる。 - 批評した内容を文章で表現できる。
楽譜の規則	楽典	- 下記の要素を理解する。 - 音符や休符の長さ - 調性の特徴と構造 - 反復記号・楽曲構造 - 速度記号・表現記号	歌唱・器楽・創作・即興の際に、左記要素を意識して表現できる。	学習した要素を、歌唱や器楽の実技に応用するよう関連づけて取り組むことができる。
和太鼓実技		- 楽譜に記載されている通りに演奏できる。 - 口唱歌による言葉と音楽との関係を理解して応用できる。	限定された小節内を創作できる。その際、拍子、音符・休符の長さ、前後の関連を考え工夫して創作に活かせる。	他生徒の演奏を参考に、自分の演奏を振り返り、姿勢を確認したり、演奏の音を聞いて改善する箇所を考えることができる。
4小節のリズムを作る	創作	音価を考えて4小節の創作ができる。	7年生で創作した経験をふまえて、より難易度の高いリズムを工夫できる。	作品を見直して改善点を考えることができる。
混声三部合唱	歌唱	強弱、表現記号など楽譜に記載されている内容を理解し、歌唱に応用できる。	- 歌詞の意味やまとまり（フレーズ）を意識して歌唱できる。 - 強弱等歌唱表現を工夫できる。 - 曲の構造や特徴に合わせた表現を工夫できる。 - 全体の響きを聴き、その中にとけ合	- 意欲的に歌唱する。 - 自分の歌唱を振り返り、次の授業で改善したいことを考えることができる。 - パートやクラスでの討議に積極的に参加し、自分の考えを述べた

			わせるように意識して 歌唱できる。	り、他生徒の意 見を参考に自分の考えを再 構築できる。
『交響曲第5番』	鑑賞	・古典派の特徴や時代背景等全般的特徴を理解する。 ・交響曲の構造を理解する。 ・オーケストラで使用する楽器の分類・特徴を理解する。	・使用楽器の変化、強弱等、時代の特徴を捉えて鑑賞できる。 ・ソナタ形式の特徴を理解して鑑賞できる。 ・楽器の音色の重なり等、鑑賞して感じ取ったことを文章で表現できる。	・左記要素を意識して、根拠をもって批評することができ。 ・批評した内容を文章で表現できる。
『荒城の月』	歌唱	・楽曲の時代背景や情景を理解する。 ・歌詞の意味を理解して歌唱する。	・想像した情景を表現するための歌唱方法（強弱、速度等）を考えて歌唱できる。 ・短調の響きを理解し、工夫して歌唱できる。	・情景や歌詞に応じた歌唱方法を考え、歌唱できる。
PC上での創作	創作	・PC上で、音価を理解してリズムを打ち込むことができる。	・定められたリズムにアレンジを加えられる。 ・表現したい内容に沿って音域や使用音、和音、リズム、音色、速度を工夫できる。	・常に再生と検証をくり返して、自分の作品をより良く改善しようとする。
「アイーダ」	鑑賞	・総合芸術の特徴、舞台構造、他芸術との関わりを理解できる。 ・使用楽器の特徴を理解できる。	・物語の構成を理解し、オペラによる表現を味わって鑑賞できる。 ・音楽以外の要素とオペラとの関わりを理解して鑑賞できる。	・DVD映像を見て、オペラに関わる多様な要素を感じて鑑賞し、感想や批評を文章で表現できる。
『展覧会の絵』	鑑賞	・標題音楽の特徴を理解する。	・楽曲を聴いて、曲の構造や音色、題名から想像できる情景を浮かべながら鑑賞できる。	・管弦楽に編曲された演奏を聴き、多彩な楽器の音色を感じて場面を想像し、文や絵で表現できる。
『ブルタヴァ』	鑑賞	・音楽の背景（歴史や地理）を理解して曲全体の構成を鑑賞できる。	・情景の変化による曲想の変化を感じ、情景を想像しながら鑑賞できる。 ・場面による使用楽器の違いを理解し、鑑賞できる。	・諸要素を元に感受した鑑賞内容を文章で表現できる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察	・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察	・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察 ・振り返りシート（毎時）

8年 美術科

教科目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
学年目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

分野	題材名	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション	発想する			
デザイン	その一枚が人を動かす アイデアを伝えるには	知 イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。ポスターの制作順序について理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。	発 伝えたい情報やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、イラストレーションや文字による伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や機能を考え、美しく印象に残るポスターなどの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 主体的に伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
工芸	空間に光を飾ろう	知 光の形や色彩の変化などに着目し、空間に与える印象をとらえる。形や色彩などが感じさせる効果や、造形的な特徴などを基に、造形物の美しさを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通し	発 光がつくり出す空間の美しさ、使う場面などをもとに、光の色や影の効果を考え、構想を練っている。また、美的感覚を働かせて形や色彩、材料などの効果を総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に生活を彩る美術の働きなどを基に、季節感を表す構成や装飾の目的や機能を考え、構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 光や陰の効果を生かしてデザインすることに関心をもち、意欲的に取り組み、見方や感じ方を

		を持って創造的に表している。		深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
彫刻	イメージを形に	知 彫刻表現について理解している。紙の特性、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	発 表したいイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、形や質感、重心などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感情やイメージなどを形で表そうと単純化や省略、強調、形や質感、動勢などを考え構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などを考え見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞	デザインで人生を豊かに	知 形や色彩、材料などに着目し、作者の意図やイメージを捉えることを理解している。	鑑 使う人の立場や使う場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。	態鑑 使う人の立場や社会における美術の働きなどに関心をもち、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・定期テスト ・ワークシート ・作品	・定期テスト ・ワークシート ・作品	・振り返り ・ワークシート ・作品

8年 保健体育科

教科目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
学年目標	体育分野 - 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 - 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことに他者に伝える力を養う。 - 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人ひとりの違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 保健分野 - 個人の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 - 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える能力を養う。 - 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	・体ほぐし運動	○知識 身体づくり運動の意義と行い方、身体の動きを高める方法などについて理解している。	自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどをしてたり、健康・安全に気を配ったりしている。
体育理論	- 運動やスポーツの学び方 - 運動やスポーツの安全な行い方	○知識 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解している。	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。
ダンス	・現代的なリズムのダンス	○知識 - ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 - リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとする、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めようとしたりすることなどをしてたり、健康・安全に気を配ったりしている。
陸上競技	・短距離・リレー ・ハードル走 ・長距離走	○知識 - 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 - 短距離・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡してタイミングを合わせることができる。 - ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めようとしたりすることなどをしてたり、健康・安全に気を配ったりしている。

		越すことができる。 ・長距離走ではペースを守って走ることができる。		
球技	・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型	○知識 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置にもどるなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
水泳	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ	○知識 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを取り、長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
器械運動	・マット運動 ・跳び箱運動	○知識 ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなど、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとし、健康・安全に気を配ったりしている。
武道	・柔道	○知識	・攻防などの自己の課題を発見	・武道に積極的に取り組むとともに

		・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	に、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとしたりすることなどをしたり、禁止技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
保健	・傷害の防止 ・生活習慣病などの予防 ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	○知識 ・交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。 ・交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解している。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解している。 ・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの技術を身につけている。 ・生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康をそこなう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解している。	・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断しているとともに、それらを表現している。	・傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・行動観察 ・定期考査（知） ・課題レポート（知） ・実技試験（技）	・行動観察 ・定期考査 ・学習カード ・課題レポート ・実技試験	・行動観察 ・定期考査 ・学習カード ・課題レポート

8年 技術科

教科目標	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①生活や社会で利用されている生物育成、エネルギー変換の基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 ②生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 ③よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
学年目標	① 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解する。 ② 安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる。 ③ 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の ④ 評価、改善及び修正について考える。 ②電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解する。 ③情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ④問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化する。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B(1) 生物育成の技術	1-1 生活や社会と生物育成の技術 1-2 さまざまな生物育成の技術	- 作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を説明できる。 - 生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。	生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる。	進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
B(2) 生物育成の技術による問題解決	2 生物育成の技術による問題解決	育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。	- 生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定できる。 - 条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。 - 育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況とを比べながら、合理的な解決作業を決定できる。 - 自らの問題解決の工夫を、生物育成の技術の見方・考え方に照らして整理するとともに、課題の解決結果を記録したデータに基づいて評価する。	- 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 - 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。

C(1) エネルギー変換の技術	1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術 1-2 エネルギー資源の利用 1-3 電気の利用 1-4 運動の利用	- 自然界にあるエネルギー源が変換され利用されることや、熱機関の仕組みを説明できる。 - 自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法と安定した電力供給の仕組みを説明できる。 - 算出した変換効率に基づき、エネルギー変換、効率及び損失の意味や省エネルギーの重要性を説明できる。 - 電源の種類とそれぞれの特徴を、電気の特性等の原理・法則に基づき説明することができる。 - 電気エネルギーを、光や熱、動力、音、信号に変換する仕組みを説明することができる。 - 電気回路を回路図を使って表すことができ、電気回路の特性や電流の流れを制御する仕組みについて説明することができる。 - 電気機器の定格に基づき、安全に利用するための仕組みを説明することができる。 - 工具等を適切に用いて、電気機器の保守点検を行うことができる。 - 動力を伝えるための仕組みとそれらの特徴を説明することができる。 - 運動を変化させる技術の仕組みや、力や運動を保存し利用する技術の仕組みについて説明することができる。 - 機械部品を固定する方法や、共通部品の規格について説明することができる。 - 機械を適切に保守点検することができる。	- 防災用品に込められたエネルギー変換の技術に関する工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付くことができる。 - 発電システムは、エネルギーの変換効率だけでなく、稼働率やコスト、環境負荷等にも配慮して設計されていることに気付くことができる。 - 開発者が、製品等の目的に合わせて、機構の要素や構成を変更していることに気付くことができる。	進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
C(2) エネルギー変換の技術による問題解決	2 エネルギー変換の技術による問題解決	- 回路図を用いて、LEDが点灯する仕組みを説明できる。 - 製作に必要な図を書き表すことができる。 - 安全で適切な製作、実装、点検及び調整ができる。	- 懐中電灯に問題点を見だし、非常時に使用するライトに必要な機能に気付くことができる。 - 非常時に光る防災用ライトのスイッチを選択できる。 - 設計に基づく解決作業を計画	- 非常時に使用するライトに必要な機能について考えようとしている。 - 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。

			できる。 - 設計や製作の過程に対する改善を考えることができる。 - 非常時に光る防災用ライトの機能を評価し、改善点を考えることができる。	
C(3) 社会の発展とエネルギー変換の技術	3 これからのエネルギー変換の技術	エネルギー変換の技術を利用することで実現される持続可能な社会を説明することができる。	持続可能な社会を実現するために、エネルギー変換の技術を評価し、適切な管理・運用の仕方や改良の方向性について考えることができる。	持続可能な社会の実現に向けて、今あるエネルギー変換の技術を工夫して活用したり、新たなエネルギー変換の技術を創造したりしようとしている。
D(1) 情報の技術の原理・法則と仕組み	1-1 生活や社会と情報の技術 1-2 情報とコンピュータ 1-3 情報の表現と伝達 1-4 情報セキュリティと情報モラル	- 情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 - 処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 - 処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 - 情報の表現、記録、計算についての科学的な原理・法則や情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 - 情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を理解し、メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 - 情報通信についての科学的な原理・法則と情報通信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みを説明できる。 - 情報ネットワーク上で情報を利用する仕組みを説明できる。 - 情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みを説明できる。 - 情報モラルの必要性和情報を発信する時の注意点について説明できる。 - 知的財産を保護する必要性和利用方法を説明できる。	身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。	- 進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 - 進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 - 情報社会において適正に活動しようとしている。
D(2) 双方向性のあるコンテンツ	2-1 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	- 双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。 - 使用するメディアを複合する	- 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 - 知的財産を創造、保護、及び活

		安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 - 制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。 - 問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	用しようとしている 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
--	--	--	---	--

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 栽培実習 - 教材作品 - 実習レポート - 行動の観察	- 栽培実習 - 教材作品 - 実習レポート - 行動の観察	- ノート - ワークシート（プリント） - 行動の観察 - 振り返り

8年 家庭科（食生活、消費生活）

教科目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１） 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （２） 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 （３） 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
学年目標	（１） 中学生に必要な栄養の特徴や健康に良い食習慣、栄養素の種類と働き、食品の栄養的な特質、食品の選択と調理に関する知識および技能を身につけ、これからの生活を展望して、食生活の課題を解決する力を養い、食生活を工夫し創造しようとする態度を育成する。 （２） 金銭の管理と購入について、購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。また、必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。

単元	項目	評価の観点規準（Ｂ評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
私たちの食生活	１．健康と食生活 ①中学生に必要な栄養 ②栄養素のはたらきと６つの基礎食品群 ③１日の献立づくり	・１日に必要な食品の種類について理解している。 ・栄養素の種類とはたらきが分かり、食品の栄養的な特質について理解している ・１日分の献立を作成する方法について理解している	・１日の献立について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	２．食品の選択と保存 ①生鮮食品と加工食品 ②食品の表示 生鮮食品と加工食品の表示 ③食品の選択・購入と保存 ④食品の安全と情報	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品・加工食品について理解しているとともに適切に選択できる。 ・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに適切に選択できる。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。	・食品の選択について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 ・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	３．調理しよう ①調理の計画・基本 ②肉の調理 ③魚の調④野菜の調理	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調	・１食分の調理の仕方や調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・１食分の調理について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	４．地域の食材	理が適切にできる。		

	と食文化 ①地域の食材と郷土料理 ②受け継がれる食文化	・地域の食文化について理解している。		
	持続可能な食生活		・持続可能な食生活をめざして、課題とその解決方法について考え、工夫している。	・よりよい食生活の実現に向けて、主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。
生活の課題と実践	生活の課題と実践		・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
消費生活と環境	私たちの消費生活	・物資・サービスについて理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想している。	・商品の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・定期考査 ・授業観察 ・実技テスト ・ワークノート	・定期考査 ・ワークノート ・授業観察 ・レポート	・定期考査 ・授業観察 ・ワークノート ・レポート

8年 外国語（英語）科

教科目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 <聞くこと> ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えること ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。 <読むこと> ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 <話すこと【やり取り】> ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。 <話すこと【発表】> ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 <書くこと> ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。
	学年目標 8年終了時までに学習した文法や表現を習得する。

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 0 My Spring Vacation	動詞の過去形	過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。(I・R・SI・W) 過去形を用いた文の理解をもとに、春休みにしたことやその感想について、伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしている。	クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしようとしている。
Unit 1 What can we	未来表現	未来を表す be going to や will を用いた文、<show など> +	留学生に休日を楽しんでもらう	留学生に休日を楽しんでもらう

experience on a trip?	be going to/ will SVOO SVOC	＋もの>、<call+A+B>の文の形・意味・用法を理解している。 未来を表す be going to や will を用いた文、<show など+人+もの>、<call+A+B>の文の理解をもとに、これからの予定や計画、旅行の報告などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身につけている。	ために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	ために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Real Life English 1	be going to 助動詞 will	予定などを伝える表現の意味や働きを理解し、近い未来の情報について話される内容を捉える技能を身につけている。	旅行をより楽しむために、飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取っている。	旅行をより楽しむために、飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取ろうとしている。
Unit 2 What is local food?	接続詞 when、if、because、that	接続詞 when、if、because、that を用いた文の形・意味・用法を理解し、時や条件、理由や考え・意見などを伝え合う技能を身につけている。	ALT の先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書いている。	ALT の先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
Real Life English 2	May I ...? Could you ...?	ていねいに許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解している。相手にしてほしいことについて、ていねいに許可を求める表現や依頼する表現を用いて、伝えたり答えたりする技能を身につけている。	旅行をより楽しむために、相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしている。	旅行をより楽しむために、相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしようとしている。
Unit 3 What kind of job are you interested in?	不定詞(目的・原因を表す副詞的用法、形容詞的用法)、It is ...+to	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、すべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書いている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書いている。
Real Life English 3 仕事についてのインタビュー	Thank you for ... My pleasure. 不定詞、It is ...+to	時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きを理解し、仕事についてのインタビューを聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。	相手のことをよりよく知るために、仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉え、自分ならどんな質問をしたいか考えている。	
Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food		Unit 3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。いちばん好きな日本食についてその特徴や好きな理由を整理し、メモにまとめて話す技能を身につけている。	自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話している。	自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話そうとしている。
Let's Read 1 History of Clocks		時間の経過を表す語句の意味や働きを理解し、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを読み取る技能を身につけている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。	
Unit 4 What is important in a homestay?	have to、do not have to 助動詞 must、must not 動名詞(目的語) 動名詞(主語)	have to、助動詞 must、動名詞の形・意味・用法を理解し、しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて話す技能を身につけている。	海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Real Life English 4	I look forward to ...、動名詞	手紙を書くときの基本的な構成と表現を理解し、お世話になった	ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書いている。	

		ことなどについて、感謝の気持ちを伝える手紙を書く技能を身につけている。		
Unit 5 What design is good for everyone?	疑問詞+to、 主語+動詞+ (人)+疑問詞 +to 主語+be 動詞 +形容詞+that	〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be 動詞+形容詞+that〉の文の形・意味・用法を理解し、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて話す技能を身につけている。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。
Real Life English5	Why don't you ...?	イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解し、アナウンスやスタッフの案内の内容を聞き取る技能を身につけている。	行きたいイベントとその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスやスタッフの案内を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	行きたいイベントとその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスやスタッフの案内を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
Unit 6 How can we make a good presentation?	比較表現(…er、 the … est、 more …、the most …、 better、best、 as … as …)	比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、複数のものを比べて伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Real Life English6	Could you tell me how to get to …? — Take … 主語+動詞+ (人)+疑問詞 +to	乗り物での行き方や乗りかえ方法を伝える表現の意味や働きを理解し、乗り物での行き方を伝える技能を身につけている。	相手が目的地に到着できるように、状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えている。	相手が目的地に到着できるように、状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えようとしている。
Let's Read 2 A Glass of Milk		場面や登場人物の心情を表す表現を理解し、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身につけている。	気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。	気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取ろうとしている。
Unit 7 What are World Heritage sites and their problems?	受け身	受け身の文の形・意味・用法を理解し、世界遺産などについて事実を伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
Real Life English 7	May I …? — Yes, please. I'm looking for …	好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解し、買い物のやり取りをする技能を身につけている。	買い物でほしいものを探そうとできるように、自分の好みや要望を伝えている。	買い物でほしいものを探そうとできるように、自分の好みや要望を伝えようとしている。
Stage Activity 3 Let's Have a Discussion		Unit 7 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解し、自分の立場を明確にして、意見を述べる技能を身につけている。	自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合っている。	自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合おうとしている。
Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet		時系列を表す文章構成や語句を理解し、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 定期テスト - 小テスト	- 定期テスト - 授業中のライティング課題 - スピーキングテスト	- 課題やテスト等に取り組む姿勢(授業観察、成果物、努力の跡) - 小テスト - テストの解き直し - 学習したことの振り返り